第19回薬物依存回復支援者養成セミナー DARS in 京都・龍谷 2018

ハーム・リダクションと薬物検査
～回復のための Drug Check～

薬物依存回復支援者養成セミナー DARS も、今回で 19 回目になります。これまで、国内は、北は北海道から南は沖縄まで、海外では韓国・ソウル、タイ・コーンケンなどで開催してきましたが、今回は、初心に戻って、京都・龍谷で薬物検査の効果的な使い方について考えてみることにします。

従来、強制または任意の尿検査は、薬物事犯の捜査手段として用いられてきました。保護観察においても、遵守事項違反者の発見と再犯予防のための威嚇を目的とするランダム検査が行なわれていました。しかし、次第にその目的も、方法も変わっていき、現在は、定期検査によって、薬物を使用していないことを証明し、回復を奨励するための手段として用いられるようになっています。

このような薬物検査の使用方法は、ポルトガルやスペインのようなハーム・リダクション政策を導入した国々で普及しています。しかし、日本では、薬物検査はなかなか定着しません。その原因のひとつは、自己使用が犯罪とされているため、陽性反応が出た場合の対応に関係機関が苦慮していることです。

そこで、今回は、日本における薬物検査の現状と課題を共有し、ハーム・リダクションの視点から、これを捉え直してみることにしました。参加者のみなさんにも、薬物検査を体験していただこうと思います。奮ってご参加ください。

2 月 17 日（土）
龍谷大学深草学舎
紫光館 4 階　法廷教室

1. 企画の趣旨（石塚 伸一 氏・龍谷大学）13:00～
2. ハーム・リダクションと薬物検査
   ナビゲーター：森村 たまき 氏（アパリ）
   1）ラテンの国のハーム・リダクション
   （市川 岳仁 氏・三重ダルク）
   2）薬物検査の法的諸問題（高橋 洋平 氏・弁護士）
   3）薬物検査の意義と目的（尾田 真言 氏・アパリ）
   4）体験・薬物検査を体験してみましょう
   （尾田 真言 氏・アパリ）

＝ 休憩 ＝

3.「薬物検査なんか怖くない」（近藤 恒夫 氏・日本 DARC）
4. 質疑応答（参加者全員）
5. まとめ　～ 17:45

＝ 懇親会 ＝　18:00～20:00

2 月 18 日（日）
龍谷大学 セミナーハウス
ともいき荘

1. “えんたく”～薬物検査の現状と課題　9:30～
   司会：丸山 泰弘 氏（立正大学）
登壇予定者：長谷川 直実 氏（医療の現場から）
   生駒 貴弘 氏（保護観察の現場から）
   齋藤 仁 氏（警察～取締り～の現場から）
   蜂谷 嘉治 氏（警察～支援の現場から）
   坂 厚志 氏（麻薬取締の現場から）
   加藤 武士 氏（木津川ダルク～施設の現場から）
   薬物検査経験者（当事者の立場から）

＝ ランチ・ミーティング（ポスター・セッション）＝

2. コメント（ファースト・テーブル）
3. 分かち合い～問題の共有～
4. クロージング・セレモニー　～15:30

Drug Addicts Recovery Support DARS

参加申し込みウェブページ

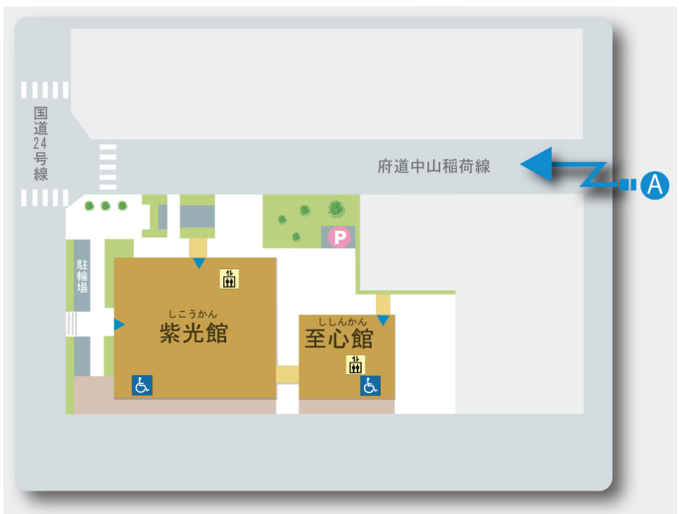
主　催：JST/RISTEX（社会技術研究開発事業）安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築
「多様化する嗜癖・嗜虐行動からの回復を支援するネットワークの構築」（ATA-net）研究代表・石塚 伸一（龍谷大学教授）
後　援：龍谷大学犯罪学研究センター／龍谷大学矯正・保護総合センター刑事司法未来プロジェクト
問い合わせ：NPO 法人アパリ ウエスト 木津川ダルク　TEL&FAX・0774-51-6597　E-mail・info@apari-west.org

第 19 回 DARS in 京都･龍谷　会場アクセス

2 月 17 日（土）龍谷大学深草学舎紫光館 4 階　法廷教室

京都府京都市伏見区深草西浦町 1 丁目 1
※ 京都市市営地下鉄「くいな橋」駅徒歩 3 分
※ http://www.ryukoku.ac.jp/fukakusa.html

アクセス



2 月 18 日 (日) 龍谷大学 セミナーハウスともいき荘

京都市上京区室町通下長者町通下ル近衛町 38 番地
※ 地下鉄丸太町駅 2 番出口から徒歩 6 分
※ 市バス烏丸下長者町から徒歩 3 分
※ https://www.ryukoku.ac.jp/tomoikiso/access.html

アクセス

参加費

２日参加：一般5,000円；学生2,500円
１日参加：一般3,000円；学生1,500円
懇親会費：3,500円
参加申し込みウェブページ：https://peatix.com/event/341015

参加申し込みウェブページ

＊あらかじめ参加を申し込み、全プログラムに参加した方には、DARSの修了書を発行致します。